

令和5年度

2月号

研究部だより



事務職員会研究部

事務職員会全体会アンケートより

11月21日に行われた全体会では、今年度の研究の重点である「カリキュラムマネジメント」について提案し、みなさんとともに考えを深めることができました。また、事後アンケートでは、たくさんのご意見やご感想をいただきました。ご協力ありがとうございました。一部ではありますが、ご紹介させていただきます。

これからも、みなさんと一緒になって研究活動を進めていけたらと思います。

～研究内容や、紹介した事例に対するご意見～

- ・事例については、事務職員ならではの視点で参考になりました。経験値によって提案できる内容が異なってくるとは思いますが、共同学校事務室の組織を上手に使って平準化できるといいと思いました。
- ・教員は毎日の授業の中でもカリキュラムマネジメントを行っている。私たちも、学校全体を見る視点と同時に、毎日の授業へも目を向けることが大切なのではないか。教員とのコミュニケーションが必須。
- ・どちらの事例も中学校寄りだったので、小学校の事例もあるとより理解が深まったかと思います。
- ・結局教育現場。「これはいい、やろう」で増やす事しか提案がない。やめる提案をしてほしい。
- ・先生方から挙げられた意見を聞いているだけでなく、自分の意見を持つことが大切だと思いました。
- ・自分自身が教育課程や条件整備を意識することや、多面的な視点から考える意識が欠けていると実感しました。
- ・同じ事例を2つの方法でマネジメントしたという発表がとてもよかった。何だか事務職員としてのモチベーションが上がる気がした。
- ・パワーポイントが分かりやすく、内容がよく伝わりました。
- ・目的と手段を勘違いしてはいけないと改めて感じました。



～グループワークに対するご意見～

- ・研究部からの提案をすべて完璧に自校に反映させるのは難しいので、まずはできることからやってみようという話し合うことができました。
- ・各校の現状をしっかりと把握していれば、若手でもしっかりと関われると感じた。
- ・何気ない日常業務がすでにカリキュラムマネジメントに繋がっているということに気づかされました。
- ・事務職員がすべて提案・実行する必要はなく、事務職員の気づきを必要な職種・分掌に働きかけて、学校全体で取り組んでいくことが大切ではないかという話になりました。

～これからの研究活動に対するご意見～

- ・毎年、新しい活動プランが提案されるが、数年かけて同じプランで提案、じっくり実践まで考えるのもいいのではないか。
- ・既存の活動を尊重しながらも、少しずつ新しい可能性に挑戦することも大事だと感じます。
- ・なんども継続して行うことが重要ではあるが、5年後10年後の事務職員におかれる立場(時代の流れを予測して)を考え、もっと広い視点で研究していく必要があるかなと感じる。

令和6年度の研究の重点「組織マネジメント」

学校を取り巻く環境や抱える課題は、複雑化・多様化しています。学校教育目標の実現のため、学校内外の情報を的確に把握・検証し、環境の変化に応じて組織を変化させていく必要があります。また、様々な経営資源を効果的に取り入れるとともに組織的に対応していくこと、それぞれの職種や担当が専門性を発揮し、連携して対応していくことが重要となります。組織力の向上におき、第2期活動プランでは3つのポイントを挙げています。ポイントに記載されていることはどんな事なのか、教育の質の向上にむけて一緒に考えていきましょう。

R6 <組織マネジメント>

組織力の向上を図り、教育の質の向上に貢献する

- 地域コミュニティの中心として内外の経営資源を効果的に取り入れ、管理部門と指導部門、学校と家庭・地域の連携を推進する
- 学校運営を俯瞰し、教頭とは異なる視点から校長の組織マネジメントを直接的・間接的に補佐する
- 個々の強みを最大限に生かし、主体性を持って学校経営に参画できる最適な事務組織を構築する

第55回東海地区公立小中学校事務研究大会(兼 県大会)

- 日 時 : 令和6年2月9日(金) 9:55より
大会テーマ : 学校・家庭・地域、次代へつなぐ学校事務の創生
参加方法 : YouTubeによるリアルタイム配信

みなさんの参加(視聴)をお願いします。事前のチャンネル登録をお忘れなく!